

部報 第137号
平成27年度（公財）全国高等学校体育連盟卓球専門部第1回理事会 議題

期 日 平成27年8月9日（日）

会 場 ピアザ淡海（301会議室）

出席者	後藤泰之	初田泰宏	小坂信彦	稲垣 裕	若尾輝夫	坂部忠彦
	安西弥一郎	関川治郎	宮澤和彦	武田和久	堀内安宏	蓑島尚信
	藤井 祐	藤崎武司	千村正純	田中正一	下川和男	島富義之
	藤井 健	河野正和	塚田博文	宗片信一	塩見卓生	川村光男
	丸山茂樹	加藤慎一	谷口史子			（以上27名）

I あいさつ

（公財）全国高等学校体育連盟卓球専門部長

後 藤 泰 之

II 協議事項

1 第1号議案 平成26年度事業報告承認の件

(1) 全日学連・全国高体連合同合宿

河 野 強化委員長

期 日：平成27年4月10日(金)～12日(日)

会 場：東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター

・日学連から強豪選手が参加し、充実した合宿になった

(2) 2015海外遠征タイジュニアオープン大会

河 野 強化委員長

期 日：平成27年5月11日(月)～18日(月)

会 場：タイ（バンコク）

男子団体2位

女子団体3位 シングルス3位（鎌田 那美、松枝 亜美）

・以前は、ヨーロッパ遠征をしていたが、費用軽減のため近年はこの大会に参加している

近年レベルが高い大会となっており、収穫が多い

(3) 2015海外遠征ベトナムゴールデンラケット大会

河 野 強化委員長

期 日：平成27年7月21日(火)～26日(日)

会 場：ベトナム（ホーチミン）

女子団体2位 シングルス3位（中澤 紬）

・中国・韓国の上位ランク選手も参加し、レベルの高い大会だった

2 第2号議案 理事会・各委員会・事務局提案承認の件

(1) 強化委員会（新人合宿・冬季合宿・指導者講習会）

河 野 強化委員長

ア 全国選抜新人合宿

期 日：平成27年12月4日(金)～6日(日)

会 場：愛知県 スカイホール豊田

イ 全国高校選抜冬季強化合宿

期 日：平成28年1月4日(月)～7日(木)

会 場：神奈川県 ひらつかサン・ライフアリーナ

ウ 全国指導者講習会

期 日：平成28年1月5日(火)～6日(水)

会 場：神奈川県 ひらつかサン・ライフアリーナ

- ・指導者講習会は、公認コーチ義務研修会に位置づけられており、多くの参加者があった
冬季合宿には、できるだけ多くの選手を参加させたい（最高 32 名）

(2) 審判委員会 宮澤 副理事長

- ・ユニフォームの基準を資料に掲載した

(3) 年報編集委員会 関川 副理事長

- ・最低購入数は、各県 40 冊を下回らないようお願いしている

(4) 平成 27 年度第 43 回全国高等学校選抜大会（郡山大会） 武田 委員長

期日：平成 28 年 3 月 25 日（金）～28 日（月）

会場：福島県郡山総合体育館

- ・p.16「(案)」を加筆
- ・p.18 優勝・準優勝枠追加（東海男子 1、近畿女子 1、中国男子 1、九州女子 1）
- ・文科省後援申請は各競技団体（専門部）で行うことになった（現在は未申請）
- ・参加料値上げ（学校対抗 40,000 円、シングルス 4,000 円）確認
- ・p.20 公開抽選要項変更（リーグ 1 位の抽選）…文言が分かりにくいので「ブロック 1 位校の抽選」に変更、「規約・規定集による」を追加→後日再提案
- ・申込用紙の変更を検討中

(5) 平成 28 年度第 85 回全国高等学校総合体育大会（岡山大会） 加藤 委員長

期日：平成 28 年 7 月 31 日（日）～8 月 5 日（金）

会場：岡山県総社市スポーツセンター体育館（きびじアリーナ）

- ・2005 年度国体会場 平成 27 年 7 月 28 日に実行委員会設立
- ・監督会議、開会式等すべて体育館内で行う
- ・仮設エアコンで対応する（置き型タイプ、サブアリーナはダクトタイプ）
- ・宿泊は、総社市内に 400 人分程度しか確保出来ないため、倉敷市内（電車約 10 分）が中心
- ・卓球台は全台同一ではない（Nittaku ハノーバー、ウィング）
- ・経費削減のため、審判（主審・副審）は高校生が行う予定

同大会参加定数の確認

川村 事務局員

- ・学校対抗は平成 26 年 8 月現在、ダブルス・シングルスは平成 27 年 1 月現在の登録を参照
学校対抗：男女各 47 校+7 校=55 校 ダブルス：107 組 シングルス：214 名(p.31・32 参照)

(6) 平成 28 年度第 44 回全国高等学校選抜大会（大阪大会） 谷口 委員長

期日：平成 29 年 3 月 25 日（土）～3 月 28 日（火）

会場：大阪市中央体育館（予定 10 月～12 月最終決定）

同大会参加定数の確認

川村 事務局員

- ・p.37 表のとおり、新通過数がブロック代表校数

(7) 規約・規定の変更について 武田 副理事長

- ・10 か所訂正 ①文言、②「、」削除、文言訂正、③「(公財)」を加筆、④～⑩加筆訂正

(8) インターハイ経費削減について 安西 理事長

- ・①全体削減計画 ②学校対抗出場数削減…登録数 200 校を超えた場合+1、全国高体連は基準年から 5 年間見直しをしない（→現在は東京のみ p.32 参照）
- ・登録数 200 の根拠、専門部の歴史・特性を重んじてもらいたい等反対多数

【具体的な検討事項】

- ・種目・内容・運営方法の見直しをすることで競技日程を減らす
- ・役員・補助員・審判数の削減やプログラム編成会議の日程の見直しで人件費を抑制する

(9) 平成 32 年 インターハイ開催地について 安西 理事長

- ・北関東開催は断念、費用を確保できなければ学校対抗のみの開催可能性

8月31日までに候補2県を決定し、全国高体連に報告する

(10) 平成27年度(公財)全国高体連卓球専門部役員(案) 安西理事長

- ・全国総体・全国選抜の開催地理事として加藤慎一先生(岡山県)・谷口史子先生(大阪府)を、事務局員として鈴木淳子先生(千葉県)を委嘱する

III 報告事項

1 平成26年度日本卓球協会第4回理事会(3/14) 小坂副部長

- ・全日本選手権大会無条件参加選手変更、エリートアカデミー修了生の進路変更(p.44参照)

- ・平成26年度登録数

全体320,915名(H25年度316,618名) 高体連67,149名(H25年度67,163名)

2 平成27年度日本卓球協会第1回理事会(5/30) 小坂副部長

- ・2016年世界選手権大会国内選考会

男子12.18-20(郡山市)インターハイシングルス1・2位 全日本選手権ジュニア1・2位

女子12.23-25(広島市)インターハイシングルスベスト4 全日本選手権ジュニアベスト4

- ・平成24年度剰余金の解消に早急に取り組む

3 平成27年度第1回全国高校総体中央委員会(4/17) 安西理事長

- ・平成26年度全校高校総体卓球競技決算報告 ¥29,937,383

- ・平成28年度全校高校総体卓球競技 7/31~8/5(総社市) 経費削減を大きな命題とする

4 平成27年度 部長・委員長会議(6/9) 安西理事長

- ・競技種目ごとの認定するコーチ資格要件は継続検討

- ・全国高体連役員・職員倫理規定を制定

5 株式会社ミニミニとの広告契約 川村事務局員

- ・全国選抜大会年間支援額の60万円のうち40万円は、配送費を含むポスター制作費に充当

IV 連絡事項

1 開催地実行委員会 堀内委員長

- ・開会式に関する諸連絡

2 事務局 蓑島事務局長

- ・外国籍選手登録の周知・徹底、指導者資格新設